

麻布幼稚園だより 10月号

平成27年9月30日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「開園80周年を迎えるにあたって」

園長 大島 美知代

来月21日(土)本園は開園80周年の記念式典を挙げていたします。港区立麻布小学校開校140周年と合同で記念式典を開催します。この式典を開催するにあたっては、様々な方のお世話になり、開催に向けての準備が進められています。

まず、合同式典の前には幼稚園の園児向けの会を開催できることになりました。これは、前園長の菅野宏隆先生のご発案と様々なご配慮により、開催できることになりました。3歳児から5歳児の全員が幼稚園のプレイルームに集まって、港区よりのご来賓、港区立幼稚園長代表の園長先生をお迎えして開催できる運びとなりました。

そして合同式典には幼稚園の代表として5歳児きく組が園歌を披露します。合同式典後には園児の「アトラクション」(表現)をお見せすることになりました。

このように、地域の皆様、麻布小学校同窓会の皆様、多くの先生方、港区教育委員会の方のお力添えがあり、開催できることに感謝申し上げます。

本園PTAも合同式典に向けての準備を行っています。9月下旬には本園PTAの「お祝いの会」担当が集まり、幼児向けの「幼稚園の誕生会」について話し合うことができました。この80周年という記念の年に在園している園児たち、そして保護者、教職員で幼稚園の「誕生会」でお祝いをしよう、ということが決まりました。これから何度か相談し、思い出に残る手作りの会にしようと考えております。

皆様は「麻布幼稚園の園歌」の歌詞をご存知でしょうか。「幼稚園の誕生会」ではみんなで歌いたないので、ぜひ園児に教えてもらい、一緒に歌ってください。

私は「麻布幼稚園の園歌」が好きです。この園歌の原譜が幼稚園職員室に飾られています。作曲は綾部 肇氏 昭和50年3月3日に制定となっています。作詞者は現在では分かりませんが、素敵な歌詞です。本園の沿革史を見ると、昭和49年3月に「開園40周年記念式典」が行われ、翌年の3月3日に『園歌発表会』となっています。歌詞の中に「東京タワーがみつめています」や「光のシャワーが注いでいます」は今も変わらず、麻布幼稚園にあります。このような都会の中で緑豊かな自然があり、園児がすぐに土や砂で遊ぶことができたり、太陽の光を浴び、思い切り体を動かすことができたりできる園庭は、本園の自慢です。また、麻布幼稚園の園児を「あかるいみんな」「なかよくあそぶ こども」「じょうぶなみんな」「おもったことをげんきよく、いつでもいえる こども」と表現しています。どれも大切な子供像ですね。園児に関わる大人、保護者や教職員がこの理想の子供像を目指し、園歌にあるような園児に育てていきたいものです。幸せな幼児期を過ごす園児たちが明るく、丈夫な心と体を持ち、様々な人と関わり、相手を思いやって仲良く関わり、自分の思いや考えを言葉で伝えられるように育てていきたいです。